

佳作

ストリートピアノ

神奈川県横浜市立六ツ川中学校三年 廣田 司

昨今、ストリートピアノが置いてあり、そこは誰でも自由に演奏してよい空間です。そこで演奏する人達は本当に上手で綺麗な音色で演奏する方もおり、まるでコンサートのような気持ちで演奏を聴く事が出来ます。

私は物心つく前の三歳からヤマハに通いピアノを学びました。年齢が上がるにつれ日常生活や部活などで忙しくなって来た頃、まだコロナ禍という状況もあり残念ながら十三歳でヤマハを辞めました。ですが、十年間ヤマハで学んだピアノ演奏の基礎があるおかげで、今でも私の日常生活の中にはピアノの存在が多くを占めています。ヤマハでは発表会があり、人前で弾く事の大変さや楽しさも学ぶ事が出来ました。

私の趣味はピアノと言えます。そんな日常生活の
という事を考え演奏していましたが、ストリートピアノでは演者が自由に好きな曲を自由にアレンジも加え、演奏する本人も聴いている周りの人達も楽しくなるような演奏が出来るものでした。発表会とは違い、まさに自分を表現する場所でした。

その体験以降、ピアノを弾く時は聴いている人の心に届くような音色を響かせたい、という気持ちで弾いている自分がお子様々な心の変化がありました。そして中学三年生の夏、出かけた先が関内駅でした。私は実際に弾いてみたいと思い、ピアノへ向かいました。緊張しましたが、演奏し終わった時、拍手をくれた人がおり心に刻まれる良い経験になりました。今後他の場所で、自由に楽しく自分を表現していかれたらと思います。

中で、とある動画を見ました。それは新宿都庁の中にあるストリートピアノで都庁を訪れている観光客に向けてすばらしい演奏をしている動画です。私はいつしかストリートピアノで演奏してみたいという憧れにも似た気持ちを抱くようになり、それから様々なストリートピアノで演奏する動画をよく見るようになりました。

そんな時、たまたま家族と用事があり関内駅周辺を歩いていると、何処からかピアノの音色が聴こえてきました。ピアノの音色に誘われるように向かうと、そこでは街中を歩いている人たちも足を止めるほどの演奏をしている人がいました。関内駅地下街マリナード広場にストリートピアノが置いてあったのです。私は初めて実物を見る事が出来て、また実際に生演奏をして周辺の人々の足を止めるような演奏をしている光景を見ました。演奏を聴いていると、とても心に響く音色を奏でており、その音色を聴く人はみんな心地良くなる音色でした。周りの人も私の家族も笑顔でその演奏を見ており、見入ってしまった。私の中にはこういう事を言うのだな、と思いましたが、発表会では決められた曲を間違わない様に演奏する、